

LUMINUS

株式会社ルミナス
エコアクション21

環境経営活動レポート
(2021年1月～2021年12月)

目次

* 環境経営方針	2
* 事業活動の概要	3
* エコアクション21実施体制図	4
* 第二期中期環境経営目標期間	5
* 2021年環境経営目標 達成実績	6
* 2021年環境経営計画の実施状況及びその評価内容/ 次年度取組内容	7
* 環境関連法規制の取りまとめ	8
* 代表者による全体の評価と見直しの結果	8

環境経営方針

基本理念

私達は地球環境の問題が人類共通の課題であることを認識し、自然環境の維持に努めると共に、環境に調和した社会作りに貢献する企業活動を行います。

当社の製品は自動車部品、特にゴムやメッキ品といった環境に大きく関わるものであり、私達の取り組みが環境負荷物質の低減に結びつき、環境改善に貢献できるよう活動していきます。

行動指針

当社は企業活動のみならず、生活全般において環境負荷低減のため、下記の指針に基づき環境マネジメントを実施します。

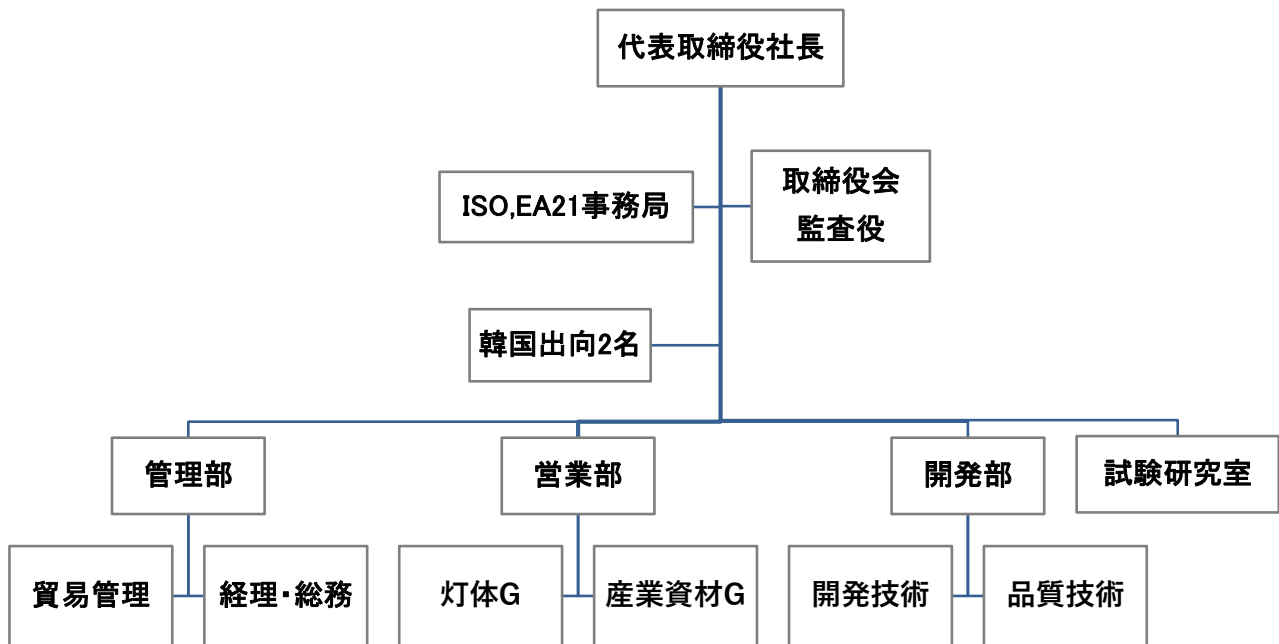
- 1 当社の製品及び加工、生産のプロセスにおいてまた、開発、納入、サービスの分野を含めて環境面の認識を十分に行い、全員が環境管理活動を推進します。
- 2 環境に関する法規、協定を順守します。
- 3 納入する製品全てに使用禁止物質が含まれていないことを保証します。
- 4 環境影響の継続的な改善体制を整備し、生産、管理活動において生じる廃棄物、排水、排ガスなどの管理を行い環境汚染の予防を推進します。
- 5 国内外輸送の省エネルギーを推進し、業務の効率化無駄の排除により省資源化を推進します。
- 6 廃棄物のリサイクルなど再資源化を推進し、資源の有効活用に努めます。
- 7 化学薬品や有害物質については適切な管理を行い、環境汚染の予防に努めます。
- 8 環境目的及び目標を設定し、達成状況の評価や見直しを行い継続的な向上を図ります。
- 9 環境に配慮した物品等の購入のため優先的にグリーン購入を実施します。
- 10 環境経営方針は、環境教育、社内広報活動などを通じて全社員に徹底し、外部からの要求に対してこの環境経営方針を公表します。

制定日：2011/1/1
改定日：2020/9/1
株式会社ルミナス
代表取締役社長
江口 洋

事業活動の概要

- 1 事業社名
株式会社 ルミナス
- 2 代表者名
代表取締役社長 江口 洋
- 3 所在地
東京都江東区亀戸6-58-10 第2共立ビル 3F/4F/8F
<http://www.luminus.jp/>
Tel: 03-5858-5800
Fax: 03-3636-2080
- 4 事業の規模
年間売上高 2021年度 2,659,540,000円
資本金： 10,000万円
延床面積： 211㎡
人数： 17人
- 5 活動内容
自動車用灯体部品の受託開発と国内外調達及び
一般工業製品の国内外調達
- 6 社歴
2007年 11月設立
- 7 環境管理責任者及び担当者連絡先
E A 21環境推進事務局 環境管理責任者 :古山 かおる
furuyama@luminus.jp
Tel: 03-5858-5800
Fax: 03-3636-2080
- 8 施設の状況
賃貸オフィス、パソコン、複合機など
- 9 対象範囲
対象範囲 全社
登録番号 8637
登録日 2012年5月31日
レポートの対象期間： 2021年1月～2021年12月
発行日： 2022年2月28日

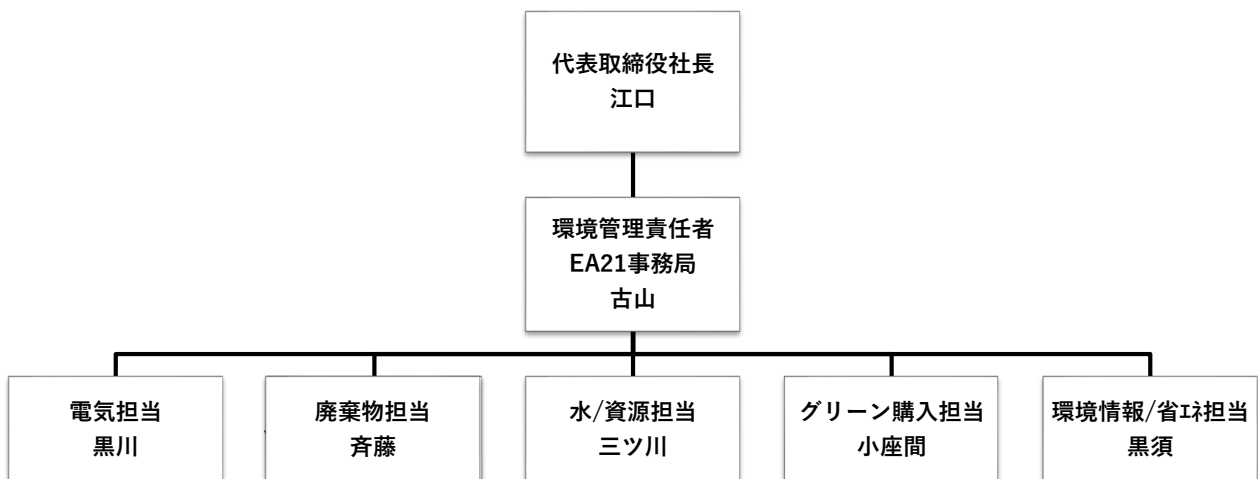
2022年 (株)ルミナス 組織図



(株)ルミナス エコアクション21実施体制図

更新日： 2022/1/5

作成者： 環境管理責任者：古山 かおる



第二期中期環境経営目標期間

環境目標		基準年	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標
		2013/1/7~2013/12/27	2021/1/6~2021/12/28	2022/1/5~2022/12/28	2023/1/4~2023/12/28
1.電気使用量の削減 (2021年実績値から5%削減)	3F	3,599kwh 2016年度の実測値を基準値に設定	4,001kwh	4,001kwh	3,961kwh
	4F	7,631kwh 2013年度の実測値を基準値に設定	6,410kwh	6,410kwh	6,346kwh
	8F	6,639kwh 2013年度の実測値を基準値に設定	6,613kwh	6,613kwh	6,547kwh
	全社	17,869kwh	17,024kwh	17,024kwh	16,854kwh
二酸化炭素排出量	全社	8,255kg-co2	7,508kg-co2	7,508kg-co2	7,433kg-co2
2.一般廃棄物の削減 ①廃棄物総量の削減 (1-6月：フロア人数×3.5kg 7-12月：2021年度実績より 5%削減)	3F	64.50kg 2016年度の実測値を基準値に設定	137.74kg	137.74kg	136.36kg
	4F	255.70kg 2015年度の実測値を基準値に設定	229.56kg	229.56kg	227.26kg
	8F	288.30kg 2015年度の実測値を基準値に設定	321.38kg	321.38kg	318.17kg
	全社	608.50kg	688.68kg	688.68kg	681.79kg
②リサイクル率 の向上	3F	50%以上			
	4F	50%以上			
	8F	50%以上			
	全社	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上
3.水使用量の 維持・継続 (端数四捨五入の為、合計値 が若干差異有) (2021年実績値から 5%削減)	3F	36m ³ 2016年度の実測値を基準値に設定	15m ³	15m ³	15m ³
	4F	27m ³ 2015年度の実測値を基準値に設定	19m ³	19m ³	18m ³
	8F	36m ³ 2015年度の実測値を基準値に設定	26m ³	26m ³	26m ³
	全社	100m ³	60m ³	60m ³	59m ³
4.グリーン購入 事務用品等環境ラベル認定品の 購入比率向上	全社	50.0%	維持・継続 90%	維持・継続 95%	維持・継続 95%
5.製品・サービスの推進 ①省エネ・省資源化 の営業提案 ②製品の化学物質 情報提供	全社	①50%以上 ②100% ③12回以上	維持・継続 ①月2件以上 ②100%	維持・継続 ①月3件以上 ②100%	維持・継続 ①月4件以上 ②100%

※購入電力の調整後CO2排出係数は、東京電力の2020年度算定用係数0.441kg-CO2/kWhを使用。

更新

※2018年度3月分(電気)：数値誤記訂正

※2019年度目標値訂正(目標値が年度途中で変更になった為)

※2020年度一般廃棄物の削減目標修正(前年目標超過の為)

※5-③QCパトロールはISOにて運用の為、2020年より除外

2021年環境経営目標 達成実績

環境目標	目標	実績	評価 (○ or ×)
	2021/1~2021/12	2021/1~2021/12	
1.電気使用量の削減 2020年度実績値を目標とする	17,024kwh	16,504kwh	○
二酸化炭素排出量	7,508kg-co2	7,278kg-co2	○
2.一般廃棄物の削減 ①廃棄物総量の削減	613.58kg	462.76kg	○
②リサイクル率の向上	50.0%	59.0%	○
3.水使用量の削減	61.707m ³	43.344m ³	○
4.グリーン購入 事務用品等 環境ラベル認定品の 購入比率拡大	90%	98.8%	○
5.製品・サービスの推進 ①省エネ・省資源提案	2件以上/月	平均3件以上/月	○
②製品の化学物質情報提供 問合せに対し100%の回答	問合せに対し 100%の回答	・1件/1件を回答 (問い合わせに対し 100%回答した)	○

※購入電力の調整後CO2排出係数は、東京電力の2020年度算定用係数0.441kg-CO2/kWhを使用。

環境経営計画の実施状況及びその評価内容/次年度取組内容

環境活動計画	評価	次年度取組
1.電気使用量の削減 * 昼休み時に、事務所の照明を消す/仕事・作業中は例外とする * 1時間以上の外出時はパソコンをパワーオフ/省エネ設定 * 外気温20℃～25℃の場合、空調を停止する * 窓を開け、通気性を良くし、空調の使用を控える * 空調の適温化（冷房27℃程度、暖房は22℃程度）を維持する * エアコンフィルターの定期清掃を6月に実施する	○ ○ ○ ○ △ ○	継続する
2.一般廃棄物の削減 / 廃棄物送料の削減 / リサイクル率の向上 * 無駄な印刷物を抑制する（確認用・テスト印刷などを抑える） * ペーパーレス(PDF/データベース)の徹底/PC作業が苦手な取引先は例外とする * 段ボールの再利用 * ペットボトル・ガラス・ゴミの分別を徹底し、分別回収箱を設置する * コピー用品、新聞、チラシ、シュレッダー等のリサイクル化（資源ゴミ化） * 用紙裏面の利用徹底 * 廃棄・リサイクル物の廃棄量を抑える * マイボトル、マイ弁当箱、マイ箸を持参する	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ △	継続する
3.水使用量の削減 * 日常的な節水を励行する * 毎月末にメーターを検針する * 毎月の使用量が10%の増減があった時分析し報告する * 必要に応じて節水に有効な器具を設置する * 半年に1度、あるいは必要に応じて漏水が無い事を確認する	○ ○ ○ ○ ○	継続する
4.グリーン購入 / 事務用品等の環境ラベル認定品の購入比率拡大 * 新規商品はグリーン購入法適合商品を優先する * 発注時は過去購入実績（請求書）を確認してグリーン購入法適合商品を発注する * グリーン購入先を増やし、グリーン購入率を上げる	○ ○ ○	継続する
5.製品 サービスの推進 / 省エネ・省資源化の営業提案 * 省エネ・省資源の確認・提案 * 製品の化学物質情報の確認、提供 * 各自は、実績・実情を把握し、月例EA21ミーティングで報告	○ ○ ○	継続する
製品の化学物質情報提供 * 問合せに対し、確実に回答する * 各自は、実績・実情を把握し、月例EA21ミーティングで報告	○ ○	継続する

評価 ○：良好 △：不十分 ×：未実施

環境関連法規制の取りまとめ

2022/1/7

1. 主な環境関連法規

区分	法規制等名称	対象設備、活動など	具体的対応	評価
廃棄物	江東区清掃リサイクル条例	事業系一般廃棄物の処理	条例に伴う分別	○
	資源有効利用促進法	使用済みパソコン	メーカーやリサイクル業者によるリサイクル	○
	家電リサイクル法	冷蔵庫廃棄	販売店委託、家電リサイクル券購入	廃棄無
廃棄物の適切な処理	フロン排出抑制法	業務用エアコン	簡易点検票の確認 (共立不動産様へ依頼)	○
出荷物	RoHS / ELV指令	有害物質有無の調査	含有時に非含有化を推進する	○
	Reach規制			○
東京都条例	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	広範な努力義務	法律・条例順守で適合	○

2. 違反・訴訟の有無

環境関連の法規の違反や訴訟は発生しておりません。
環境当局からの違反等の指摘等も過去に一度もありません。

前回の審査員により指示への取り組み内容

2021年は全ての活動において年間目標を達成したので、2022年は目標を上げて取り組みます。
EA21を進める為、管理部がEA21事務局をサポートします。

代表者による全体の評価と見直しの結果

いままで、会社としての環境改善と維持活動は、それなりに進んでいるが、対象が従前の範囲に限られ、世界的な環境問題（地球温暖化や海洋汚染）との直接的な関わり合いが少ない。今後はそれらに直結する活動にも対象を広げていくことが必要ではないか？まずは我々の事業の根幹になっている、アルミダイカストの製造プロセスでいかに大量のCO2が発生し、また、それを輸送し顧客に届けるプロセスにおいてもCO2が発生している事を定量的に把握する仕組みを見つけることがスタートだと思う。今後そういう観点で環境改善活動を進めていくのはどうだろうか？社内での検討を期待します。